

## 2.4 出典

---

2.1 ~ 2.3 に掲載した文献の出典は以下のとおりである。（掲載順に列挙）

## 2.1 論文

- 1) 福井恒明・篠原修（2005）グレイン論に基づく街並みの歴史的イメージ分析，土木学会論文集，No. 800/IV-69:27-36.
- 2) 細木大輔・米村惣太郎・亀山章（2006）盛土のり面で森林表土利用緑化を行う際の撒き出し厚さ，施肥量，マルチングに関する検討，日本緑化工学会誌，31(3):385-390.
- 3) 松江正彦・百瀬浩・植田睦之・藤原宣夫（2006）オオタカ (*Accipiter gentilis*) の営巣密度に影響する環境要因，ランドスケープ研究，69(5):513-518.
- 4) 畠瀬頼子・大江栄三・小栗ひとみ・松江正彦・宇津木栄津子・井本郁子（2006）東北地方のブナクラス域，国営みちのく杜の湖畔公園における森林管理と林床植生の変化，ランドスケープ研究，69(5):571-576.

## 2.2 学会・シンポジウム要旨

- 5) 畠瀬頼子・小栗ひとみ・松江正彦・井本郁子・大江栄三・名取睦（2005）GIS を利用した丘陵地雑木林の利用と保全のための環境評価，日本景観生態学会第 15 回東京大会講演要旨集:29.
- 6) 今井靖晃・瀬戸島政博・船橋学・藤原宣夫・山岸裕・松江正彦・影本信明（2005）市販の航空機レーザスキャナデータを用いた市街地の樹木被覆地における樹高計測，日本写真測量学会平成 17 年度年次学術講演会発表論文集－空間情報の計測と利用－:71-74.
- 7) Saeki, M., Kaneko, Y., Hioki, Y., Iizuka, Y. and Fujiwara, N. (2005) Habitat selection of and landscape management for four native and one introduced carnivore species in the Ibaraki Prefecture, Japan. Abstracts of the Plenary, Symposium, Poster and Oral papers presented at IX International Mammalogical Congress:39.
- 8) 飯塚康雄（2005）樹木腐朽診断機の開発と診断事例，第 25 回道路緑化技術発表会要旨論文集:6-7.
- 9) 飯塚康雄・神庭正則（2005） $\gamma$ 線樹木腐朽診断機による診断事例，樹木医学会第 10 回大会講演要旨集:55.
- 10) 安仁屋宗太・福井恒明・篠原修（2005）景観整備に関する事業の事後評価についての研究－浦安・境川をケーススタディとして－，景観・デザイン研究講演集，1:73-82.
- 11) 福井恒明（2005）地区イメージの形成と体験経路の関係－歴史的地区を対象として－，景観・デザイン研究講演集，1:247-252.

12) 福井恒明・岡田智秀 (2005) 土木学会デザイン賞の創設とこれまでの経過, 景観・デザイン研究講演集, 1:271-275.

13) Hosogi, D., Nakamura, K., Kameyama, A. (2006) Cut slope revegetation using only natural plant dispersal from the above vegetation in Tochigi, Japan. Abstracts of the 2nd. Scientific Congress of East Asian Federation of Ecological Societies:479.

### 2.3 雑誌・特集記事等

14) 飯塚康雄・松永忠久・百瀬浩・佐伯緑・松江正彦 (2005) 建設事業における希少猛禽類への影響予測評価システムー国総研版騒音・振動シミュレーターー, 騒音制御, 29(2):123-129.

15) 米澤直樹・藤原宣夫・武田ゆうこ (2005) こどもを遊びに誘導する身近な都市公園の計画に関する考察, こども環境学研究, 1(1):171-174.

16) 飯塚康雄・佐伯緑・松江正彦 (2005) 生態ネットワーク計画における GIS の利用, 環境技術, 34(5):33-38.

17) 今井靖晃・瀬戸島政博・船橋学・藤原宣夫・山岸裕・松江正彦・影本信明 (2005) 市販の LIDAR データを用いた都市内樹林の樹高計測, 写真測量とリモートセンシング, 44(6):31-35.

18) 長濱庸介 (2005) 壁面緑化等特殊緑化について, 建設マネジメント技術, 2005年7月号:17-20.

19) 松江正彦 (2005) 壁面緑化による暑熱環境改善効果の実証, 都市緑化技術, 57:17-18.

20) 国土交通省 都市・地域整備局 公園緑地課 緑地環境推進室・国土技術政策総合研究所 環境研究部 緑化生態研究室 (2005) 2005年日本国際博覧会(愛・地球博)で実施している大規模壁面緑化(バイオラング)の効果測定実験について(速報), 公園緑地, 66(3):92-95.

21) 飯塚康雄 (2005) 街路樹の危険度評価, 緑の読本, シリーズ 74:55-66.

22) 長濱庸介・佐伯緑・松江正彦・大村径 (2006) エコロジカルネットワーク計画のための息地予測モデルとシナリオ分析の検討, 土木技術資料, 48(1):48-53.

23) 小栗ひとみ (2006) 景観検討・評価のための計画デザイン・システムに関する研究, 土木技術資料, 48(3):28-33.

24) 松江正彦 (2006) 国土技術政策総合研究所における取り組みの現状, 都市緑化技術, 59:27-30.

25) 松江正彦 (2006) 外来植物の利用の現状と今後の技術的な課題・展望, 公園緑地, 66(6):65-68.

26) 福井恒明 (2006) 景観緑3法施行ー導入の素地をつくろう!, EAST TIMES, `06.3:4-6.